



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月20日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8566 URL <http://www.r-lease.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 瀬川 大介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 戸谷 浩二 TEL 03-6204-0608  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	151,181	4.4	8,455	△3.9	8,372	△4.0	5,761	△4.3
29年3月期第2四半期	144,878	6.3	8,800	5.3	8,719	5.5	6,022	9.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,925百万円 (△2.1%) 29年3月期第2四半期 6,051百万円 (10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	184.58	—
29年3月期第2四半期	192.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	937,256	160,986	17.1	5,133.50
29年3月期	918,864	155,998	16.9	4,975.38

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 160,250百万円 29年3月期 155,314百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	35.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,300	2.1	16,800	△3.1	16,500	△4.0	11,300	△4.0	361.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	31,243,223株	29年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	26,633株	29年3月期	26,592株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	31,216,625株	29年3月期2Q	31,216,669株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第2四半期連結累計期間の連結経営成績)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減	
			金額	伸率(%)
売上高(百万円)	144,878	151,181	6,302	4.4
営業利益(百万円)	8,800	8,455	△344	△3.9
経常利益(百万円)	8,719	8,372	△347	△4.0
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	6,022	5,761	△260	△4.3
1株当たり四半期純利益	192円93銭	184円58銭	△8円35銭	—
(取扱高)				
リース・割賦事業(百万円)	165,217	181,816	16,599	10.0
金融サービス事業(百万円)	17,284	10,919	△6,364	△36.8
取扱高合計(百万円)	182,501	192,736	10,234	5.6

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な世界経済やインバウンド需要などを背景とした企業業績の好転から緩やかながらも景気回復基調が続いております。しかしながら、地政学リスクの高まりなど、先行きは不透明な状況です。

リース業界においては、平成29年4月～8月累計のリース取扱高は、前年同期比5.9%減少の1兆7,880億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

このような状況の中、当社グループにおいては、新3ヵ年中期経営計画(中計)をスタートさせ、中計で定めた事業成長戦略と組織能力強化戦略のもと、注力分野に対する営業強化に加えて新規事業領域の開拓を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間における総取扱高は前年同期比5.6%増加の1,927億円となり、営業資産残高は前期末から213億円増加し、8,052億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比4.4%増加の1,511億円となりました。営業利益は、市場金利が低位に推移していることによる競争激化の影響に加えて中途解約による利益が減少したことから、前年同期比3.9%減少の84億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比4.3%減少の57億円となりました。

	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)			営業資産(百万円)		
	前四半期累計	当四半期累計	増減	前四半期累計	当四半期累計	増減	前期末	当四半期末	増減
リース・割賦	140,204	146,098	5,893	7,488	7,003	△485	654,737	673,068	18,331
金融サービス	3,506	3,684	178	1,662	1,790	128	121,666	123,791	2,125
報告セグメント計	143,710	149,782	6,072	9,150	8,794	△356	776,404	796,860	20,456
その他	1,168	1,398	230	118	112	△5	7,550	8,401	851
合計	144,878	151,181	6,302	9,269	8,907	△362	783,955	805,262	21,307

【リース・割賦】

リース・割賦事業においては、同業他社のみならずマイナス金利政策下で運用難に直面している金融機関との競争も継続するなか、事務用機器・情報関連機器、太陽光発電設備を中心とする環境関連機器、商業及びサービス用機器などの取扱いが伸長し、取扱高は1,818億円と前年同期比10.0%増加しました。その結果、営業資産残高は前期末から183億円増加し、6,730億円となりました。

リース・割賦事業の売上高は前年同期比4.2%増加し1,460億円となりましたが、セグメント利益は前年同期比6.5%減少し70億円となりました。

【金融サービス】

金融サービス事業は、前期に獲得した法人向け融資の大口契約の反動減により、取扱高は前年同期比36.8%減少の109億円となりました。営業資産残高は、前期末から21億円増加し1,237億円となりました。受取手数料については、集金代行サービスや介護報酬ファクタリングサービスが順調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比5.1%増加し36億円となり、セグメント利益は貸倒費用の減少と受取手数料の増加から前年同期比7.7%増加の17億円となりました。

【その他】

その他の事業は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等が含まれています。売上高は前年同期比19.7%増加の13億円、セグメント利益は前年同期比5.0%減少の1億円となりました。また、その他の事業の営業資産残高は、前期末に比べ8億円増加し84億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

	前連結会計年度末 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (平成29年9月30日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産(百万円)	918,864	937,256	18,391	2.0
*営業資産(百万円)	783,955	805,262	21,307	2.7
営業資産以外(百万円)	134,909	131,994	△2,915	△2.2
純資産(百万円)	155,998	160,986	4,988	3.2
自己資本比率(%)	16.9	17.1	0.2ポイント	

\*営業資産には報告セグメントの営業資産に加え、その他の事業の営業資産を含めております。

【総資産】

総資産は、営業資産が213億円増加したことなどから、前期末に比べ183億円増加し9,372億円となりました。

【純資産】

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による57億円の増加と、剰余金の配当9億円による減少等で、前期末に比べ49億円増加し、1,609億円となりました。自己資本比率は前期末の16.9%から0.2ポイント改善し17.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△4,933	△22,338	△17,405
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△942	△335	607
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	2,807	20,454	17,647
現金及び現金同等物四半期末残高(百万円)	494	843	348

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が83億円となった一方で、割賦債権の増加による支出が102億円、リース債権及びリース投資資産の増加による支出が67億円、貸貸資産の取得による支出が58億円、仕入債務の減少による支出が99億円となったことなどで当期は223億円の支出となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べて6億円支出が減少し、当期は3億円の支出となりました。この支出は社用資産の取得と投資有価証券の取得によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、収入については借入金の純増で15億円、社債の発行で298億円となった一方で、支出については社債の償還で100億円、配当金の支払額で9億円などとなりました。これにより当期は204億円の資金収入となり、前期に比べて176億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に公表した平成30年3月期連結業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,061	843
受取手形及び売掛金	14	21
割賦債権	105,028	117,463
未収賃貸債権	38,020	38,199
リース債権及びリース投資資産	538,028	544,747
営業貸付金	129,217	132,193
その他の営業貸付債権	47,414	46,363
その他の営業資産	5,067	5,067
賃貸料等未収入金	6,210	6,849
その他の流動資産	25,244	22,675
貸倒引当金	△7,731	△7,620
流動資産合計	889,576	906,805
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	20,050	21,361
社用資産	462	420
有形固定資産合計	20,513	21,782
無形固定資産		
賃貸資産	843	894
その他の無形固定資産	1,502	1,366
無形固定資産合計	2,346	2,260
投資その他の資産		
投資有価証券	3,875	4,095
破産更生債権等	1,205	1,250
その他	2,019	1,762
貸倒引当金	△671	△700
投資その他の資産合計	6,428	6,408
固定資産合計	29,288	30,451
資産合計	918,864	937,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,869	16,896
短期借入金	112,115	92,669
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	97,942	73,225
未払法人税等	2,677	2,984
割賦未実現利益	9,213	11,398
賞与引当金	780	770
役員賞与引当金	35	—
その他の流動負債	49,633	48,171
流動負債合計	329,269	276,117
固定負債		
社債	90,000	110,000
長期借入金	336,636	382,311
退職給付に係る負債	1,023	1,021
その他の固定負債	5,937	6,820
固定負債合計	433,597	500,152
負債合計	762,866	776,270
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,160	10,160
利益剰余金	136,778	141,604
自己株式	△48	△48
株主資本合計	154,787	159,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	867	954
退職給付に係る調整累計額	△340	△317
その他の包括利益累計額合計	526	637
非支配株主持分	683	736
純資産合計	155,998	160,986
負債純資産合計	918,864	937,256



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	144,878	151,181
売上原価	129,201	135,638
売上総利益	15,677	15,542
販売費及び一般管理費	6,876	7,087
営業利益	8,800	8,455
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	15
その他の営業外収益	7	30
営業外収益合計	23	46
営業外費用		
支払利息	5	4
社債発行費	78	119
投資事業組合運用損	19	2
その他の営業外費用	1	3
営業外費用合計	103	129
経常利益	8,719	8,372
税金等調整前四半期純利益	8,719	8,372
法人税、住民税及び事業税	2,696	2,765
法人税等調整額	△51	△210
法人税等合計	2,644	2,554
四半期純利益	6,074	5,817
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,022	5,761

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	6,074	5,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	84
退職給付に係る調整額	14	23
その他の包括利益合計	△23	107
四半期包括利益	6,051	5,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,998	5,872
非支配株主に係る四半期包括利益	52	52

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,719	8,372
貸貸資産減価償却費	3,844	4,413
社用資産減価償却費及び除却損	358	377
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△198	△81
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△9
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29	△35
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	31	30
受取利息及び受取配当金	△15	△15
資金原価及び支払利息	611	563
社債発行費	78	119
投資事業組合運用損益(△は益)	19	2
割賦債権の増減額(△は増加)	△3,660	△10,250
未収貸貸債権の増減額(△は増加)	△9	△179
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△4,712	△6,719
営業貸付金の増減額(△は増加)	△3,051	△2,976
その他の営業貸付債権の増減額(△は増加)	423	1,051
貸貸料等未収入金の増減額(△は増加)	△164	△638
貸貸資産の取得による支出	△3,891	△5,899
破産更生債権等の増減額(△は増加)	27	△45
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,218	△9,973
その他	2,819	2,407
小計	△2,021	△19,485
利息及び配当金の受取額	15	15
利息の支払額	△655	△574
法人税等の支払額	△2,271	△2,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,933	△22,338
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社用資産の取得による支出	△640	△146
投資有価証券の取得による支出	△232	△154
その他	△69	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△942	△335
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,290	△19,446
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	1,000	—
長期借入れによる収入	54,540	58,000
長期借入金の返済による支出	△52,505	△37,042
社債の発行による収入	19,921	29,880
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△858	△936
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,807	20,454
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,068	△2,218
現金及び現金同等物の期首残高	3,563	3,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	494	843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	140,204	3,506	143,710	1,168	144,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	140,204	3,506	143,710	1,168	144,878
セグメント利益	7,488	1,662	9,150	118	9,269

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,150
「その他」の区分の利益	118
全社費用(注)	△469
四半期連結損益計算書の営業利益	8,800

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	リース・割賦	金融サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	146,098	3,684	149,782	1,398	151,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	146,098	3,684	149,782	1,398	151,181
セグメント利益	7,003	1,790	8,794	112	8,907

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、計測・校正・機器点検等の受託技術サービス、及びリコーグループ内での融資、ファクタリング、国内キャッシュ・マネジメント・システムの運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,794
「その他」の区分の利益	112
全社費用(注)	△451
四半期連結損益計算書の営業利益	8,455

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。